

2015.8.10 発行

図書館開館
40周年!

第62号

にのみやまちとしょかん 図書館だより

特集

たてのひろし

館野鴻 絵本原画展&トークイベント



↑絵本原画展会場での館野氏

会場には『しでむし』『ぎふちょう』(偕成社刊)の原画を中心に、53点の作品が並び、2016年刊行予定『つちはんみょう』からも1点、初公開作品として展示されました。鉛筆と水彩で描かれた緻密でリアルな絵に、ひとつひとつじっくりとご覧になっている方が多く見られました。

原画の他に絵本のラフスケッチや画材も展示し、館野先生出演のNHKBSドキュメンタリー「熱中人」(2010年収録)の映像も会場で常時上映しました。

「トークイベント」

- 日時：平成27年6月28日(日) 10:00 ~ 11:30
- 場所：ラディアン ミーティングルーム2 (事前申し込み制、参加者75名)



トークイベントは、最初に参加者から質問を聞くという、トークイベントとしては異例(?)の形で始まりました。

虫についての話はもちろん、熊田千佳慕先生のことなど、気さくなお話ぶりに会場は大変盛り上がりました。「その虫の生活を知ると面白いし、対象を知るととても美しく感じる」という先生のお話はとても印象的でした。

「トークイベント アンケートより」

虫に対する意識が変わった
(二宮町 男性)

ザックバランに語ってもらい
大変面白かった(相模原市 男性)

昆虫に夢中で話される表情が
心うたれました (平塚市 女性)

子どもたちにもたくさんふれあわせたい原画や
テーマだなあと感動しました (二宮町 女性)

「缶バッジ作り」



6/28 (日)
13:30~15:30
ラディアンミーティングルーム1
対象：子ども

館野氏の指導
で絵を描き、
小さくコピーして
缶バッジを作りました。



↓会場の様子

■館野鴻氏プロフィール■

1968年横浜市生まれ。幼少時より熊田千佳慕氏に師事。秦野市に転居後、生物調査の傍ら本格的に生物画の仕事を始め、図鑑や児童書の生物画、解剖図プレート等を手がける。著作に『しでむし』『ぎふちょう』(偕成社)、『こまゆばち』(澤口たまみ/福音館/かがくのとも)ほか





5月～7月新着本 PICKUP



2015年5月～2015年7月新着分より (著编者/出版社/出版年月/請求記号)

『TSUTAYAの謎 -増田宗昭に川島蓉子が訊く-』 (増田宗昭・川島蓉子/日経BP社/'15.5/024.0ㇺ)



「なぜ、TSUTAYAが家電店?」「なぜ、巨大書店を全国展開?」物を売るだけが目的ではなく、生活提案に力を注ぎ革新を起こし続ける創業者増田宗昭氏の胸中に迫る。

『ネイチャーエデュケーション -身近な公園で子どもを夢中にさせる自然教育-』 (長谷部雅一/みくに出版/'15.4/376.1ㇺ)



自然遊びに精通した著者が公園や裏山で自然と豊かにつきあうための知恵を伝授。四季出会える草花や樹木、生き物の観察や遊び方など、すぐにでも体験したくなる本。

『市めぐり -朝市から縁起物の市まで 日本各地の「市」ガイド-』 (タイムマシンラボ/京阪神エルマガジン社/'15.4/384.3ㇺ)



歴史をさかのぼると物々交換から始まった「市」。旅先の「市」では、地元の方言や特産品を楽しんだり、「風鈴市」や「ほおずき市」では、夏の到来を感じたり、日本各地の様々な「市」を紹介。

『長もちの科学 -良い製品を長く大事に使うための技術-』 (京都工芸繊維大学長もちの科学研究センター/日刊工業新聞社/'15.4/502.1ㇺ)



環境配慮から工業製品を長く使っていく時代に日本の製品価値は高い。本書では伝統工芸品や文化財など内在する長もちの技術を紹介。身近な製品の創意工夫にも注目!

『凄い!ジオラマ -超リアルなミニチュア情景の世界-』 (情景師アラキー/アスペクト/'15.5/507.9ㇺ)



実物の写真?と違ってよく見るとなんとミニチュア模型!!「港の片隅で」「西瓜の夏」……作品の一つ一つに物語があり、懐かしい気持ちにさせてくれる。作り方やコラムも収録された魅力あふれる作品集。

『橘小夢 -幻の画家謎の生涯を解く-』 (加藤宏明・加藤千鶴監修,中村圭子編/河出書房新社/'15.3/721.9ㇺ)



時代背景や病弱なことが重なり評価を受けられないままこの世を去った橘小夢。妖美な画風の作品と彼の謎にみちた生涯をたどる。江戸川乱歩や岡本綺堂作品の挿絵も収録。

<児童書>



『巣のはなし -くふういっぱい、いきものたちのいえ-』 (シルビア・ロング/ほるぷ出版/'15.3/伴Eㇺ)

アナツバメやフラミンゴ、キツネリスの巣ってどんなか知ってる?それぞれの生態にあわせて作られる「巣」を美しいイラストで紹介。

2015年7月分 寄贈 CD 新着リスト(一部)

(発売年:演奏者)	請求記号
『ローマ三部作』ヤンソンス指揮 ('13:オスロ・フィルハーモニー管弦楽団)	112 ㇺ
『ベンチャーズ・シングル・コレクション Vol.1』 ('93:ベンチャーズ)	240 ㇺ
『フラメンコ -民俗音楽-』 ('92:アントニオ・マイレーナ)	254 ㇺ
『トレジャーズ』 ('95:山下達郎)	290 ㇺ
『ゆずの素』 ('97:ゆず)	290 ㇺ
『sometime』 ('05:パク・ヨンハ)	290 ㇺ
	(ほか)21点

ベストオードー

2015年5月～2015年7月

※この期間に予約が多かった本です

- 1 火花 /又吉直樹
- 2 ラプラスの魔女 /東野圭吾
- 3 ナイルパーチの女子会/柚木麻子
- 4 フランス人は10着しか服を持たない
/ジェニファー・Lスコット
- 5 リバース /湊かなえ

ご存知ですか?

「神奈川きずなブック」について

「神奈川きずなブック(通称)」は神奈川県内市町村の教育委員とその経験者による東日本大震災の復興支援活動です。寄付を募り、被災地の子どもたちへ本を届ける活動を行っています。実はこの活動は二宮町の教育委員さんの発案で始まりました。平成27年6月までで3,650冊の本を届けています。詳しくは「神奈川きずなブック活動報告」(館内配布)をご覧ください。《お問合せ…窓口係 井出 090-7197-7800》

二宮ゆかりの人物 特別コレクション

やまかわまさお

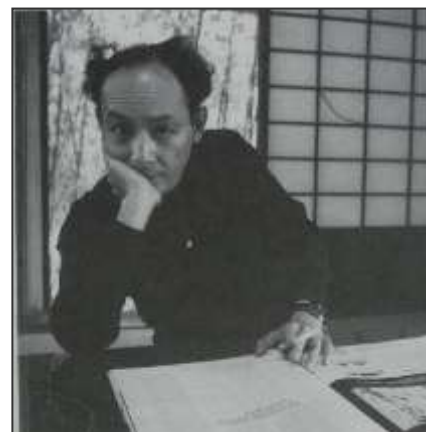
山川方夫 (作家)

過去の掲載号

⇒4号、5号、20号、43号

二宮ゆかりの人物調査票

ヨミ	ヤマカワ マサオ	ヨミ	ヤマカワ ヨシミ
人物名	山川 方夫	本名	山川 嘉巳
生年月日	昭和5年(1930年)2月25日	没年月日	昭和40年(1965年)2月20日
出生地	東京都下谷区(現台東区)上野桜木町16番地	没地	大磯町(病院)
略歴	肩書き 小説家	菩提寺	蒲田妙覚寺
	学歴 慶応大学大学院文学研究科修了		
	受賞歴 『水の壁』で昭和33年芥川賞候補、以後も多数の作品が候補に挙がる		
	代表作 『その一年』『海岸公園』ほか		
	出典 『作家・小説家人名事典』		
	その他 「三田文学」編集に携わる		
	父・山川 秀峰(1898年～1944年)は日本画家だったが、二宮の自宅で亡くなる		
	結婚するまでは二宮(祖父が居住)と五反田(母が居住)の自宅を行ったり来たりしていた。		
	結婚後は二宮に住む。		



↑1964年10月二宮の自宅にて
(筑摩書房『山川方夫全集第4巻』より)

年月	二宮関連事項
昭和18年	父(秀峰)が別荘を建築(吉田五十八設計)
昭和19年	家族(祖父、父母、姉妹)と共に二宮へ疎開
8月	以後、三田の慶応まで通学
12月29日	父・秀峰急逝
昭和20年	自宅が米軍の機銃掃射を受ける
昭和22年	二宮在住の梅田晴夫に会う
昭和40年	二宮駅前の国道横断歩道で輪禍にあう

34歳という若さで事故により急逝した作家山川方夫。今年は没後50年にあたります。

山川方夫は三田文学編集に携わり、戦後文学の一つのピークを支えた作家の一人です。二宮には疎開をきっかけに、青年期から暮ら

しました。山川方夫の文学は、ここ二宮での父親の急死、文学へ導いてくれた恩師梅田晴夫との出会いから始まりました。『日々の死』『最初の秋』『その一年』など作品の舞台としても、二宮はしばしば登場しています。二宮は彼にとって特別な意味を持った土地でした。

二宮町図書館では平成15年度(2003年)より、山川方夫を特別コレクションの一人と定め著作等の収集をしています。本紙でも過去に何度か取り上げてきましたが、2010年に刊行した『二宮ゆかりの人物ガイドブック』の中でも、主に二宮関連の出来事について詳しく紹介しています。

近年出版された山川関連の主な書籍

- ・『目的をもたない意志 - 山川方夫エッセイ集 -』(山川方夫著/清流出版/'11.3/914円)
- ・『三田文学創刊100年』(「三田文学」創刊100年記念事業委員会編/三田文学会/'10.11/T円)
- ・雑誌「三田文学 山川方夫・田久保英夫・桂芳久」第94巻第120号冬季号(若松英輔編/三田文学会/'15.2/T円)

映画評論なども収録

▶▶▶ 次号は「原石鼎」を紹介します

地域資料展示ケース紹介

平和への祈りをこめて

今年は戦後70年の節目の年です。展示ケースでは毎年この季節に戦争関連の展示をしています。今回は戦中・戦後の作品、復興の様子等の資料を展示しています。

▶ 展示のみどころ

二宮の銃撃(昭和20年8月5日)の際の弾痕の写真は、旧山川方夫邸の大黒柱を撮影したものです。米軍機が中央本線高尾駅近辺の銃撃空襲の帰途に、二宮にも投下していったといわれています。駅前での惨状は『ガラスのうさぎ』のなかでも語られています。

展示期間 7/1 ~ 9/23



お知らせ・お願い

★特別館内整理休館のお知らせ

9月24日(木)～30日(水)の7日間、蔵書点検のため休館します。利用者の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。なお休館にともない、貸出期間が変更になります。

お願い 特別館内整理休館中は返却ポストへの資料返却はご遠慮ください。

★雑誌受入再開・受入方法変更のお知らせ

「おりがみ」(2015年9月号より受入再開)
「ひよこクラブ」(2015年8月号よりスポンサー制度による受入に変更)

★「ファミリー読書のすすめ」コーナーを設置しました

図書館と町内書店(吉田屋書店、伊勢治書店)がそれぞれ親子で楽しめる本を紹介する「ファミリー読書のすすめ」のコーナーを、図書館1階こどもの本コーナーに設置しました。おすすめの本は2か月ごとに更新する予定です。

■「絵本はここのおやつ ～after ブックスタート～」

子育て中の「絵本とのつきあい方」「絵本の選び方」をお話します。

※11月開催。詳細はホームページや館内掲示でお知らせします。



利用者の声より

Q 自分の読みたい雑誌を、図書館で購入して欲しいのですが…。

A 図書館で購入する雑誌は、分野のバランスなどを考慮し年度で種類を決定しています。すぐに対応することは難しいのですが、今後の参考にさせていただきますので、ご希望がありましたらご意見をお寄せください。

★「利用者の声」回答ファイルを6月より設置しました

図書館入口の「利用者の声ポスト」横に、「利用者の声」回答ファイルを設置しました。「利用者の声ポスト」にいただいた皆様のお声と図書館からの回答をファイルしています。

※ファイルは2か月分ずつ更新します。

■わらべうたであそぼう！<乳児向け>

対象：0歳児(生後4か月以上)とその親

内容：初めてわらべうたに触れる親子向けの入門講座。おうちでも簡単にできるわらべうたを紹介します。パパの参加も歓迎！

日時：10/29(木)、10/31(土)午前10時半から

定員：各回15組(先着順)

申込み：10/2(金)～ 図書館カウンター・電話にて受付

※ 同じ内容の講座を来年2月にも実施予定。

行事カレンダー

休館日



ちいちゃいおはなし会



おおきなおはなし会ー小学生からおはなし会とおりがみあそび
※8月はスペシャルおはなし会



わらべうたであそぼう！



図書館託児サービス



大人がたのしむおはなし会



図書リサイクル提供日



雑誌リサイクル提供日

8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

10月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

図書館基金 ご報告

6月末までの累計
4,160,138 円



《月別合計》

4月 353,597 円

5月 13,990 円

6月 4,498 円

ひとつだけ ～編集後記にかえて～

館野先生の虫の生態観察にそそぐ情熱は計り知れず、トークイベントは生と死についても考えさせられた90分でした。これまで虫にまったく興味がなかった私でしたが、めんどろだった草むしりも視点を変えて楽しみながらできそうです。さて、もう一度『しでむし』『ぎふちよう』を見てみようかな！

編集・発行 二宮町図書館

住所 〒259-0123

二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913 FAX 0463-72-6914

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

図書館だよりCD版もあります。お問い合わせください！

次号は
11/10 発行

